



シュクラン日記 ~No. 7~

2022.1.23

明けましておめでとうございます！！



アッサロームアレイクム！新年あけましておめでとうございます。

年末年始はどのように過ごされましたか？私は有り難いことに年越しそばや、お節料理を食べる機会をいただき、年越しのタイミングでは綺麗な花火も見ることができました。日本の家族や親戚と会えない寂しさはありますが、海外旅行に行くことすら難しいこのご時世に、海外で年を越すことができたのはラッキーだなと感じました。

さて2021年は私の中でたくさんの挑戦がありました。UAEに来たことも、UAEでの柔道指導も、試合や合宿の引率もすべてが初めて尽くしで、緊張と楽しみが常に入り混じるような1年でした。2022年も同様に、新たなチャレンジが待っていると思いますが、一步一步着実に乗り越え、柔道においては昨年以上の結果を残せるように頑張りたいと思います。また仕事以外の面でも、自分自身の成長につながるよう勉学に励みたいと思います！！
(心機一転シュクラン日記を少しだけリニューアルしてみました。)

12月・1月の活動報告

12月15日～25日にかけてチュニジアで合宿が行われました。出発の3日前に行くことを伝えられたので予定していたメンバーが1人来られないといったトラブルはありましたが、ある意味 UAEらしいギリギリのスケジュールでチュニジアに出発することになりました。

今回の合宿は首都のチュニスでは無く、カイロワで行われました。カイロワは街自体が世界遺産に登録されているようで、街並みが非常に綺麗でした。



さて肝心の合宿は基本的に2部練習。午前はウェイトトレーニングやランニングを中心に行いました。UAEの選手は、ウェイトトレーニングは大好きなので前のめりに取り組むのですが、ランニングになると明らかに走りたくなさそうな顔色でした。彼らは普段からあまりランニングをしないので、走りたくない気持ちも分かりますが、UAEチームの短所は何といても体力の無さなので、合宿では目一杯走ってもらいました。チュニジアは非常に涼しかったのでランニングには最適な環境でした！



午後はチュニジアの選手と寝技・立技の乱取を行いました。チュニジアの柔道レベルはUAEと同じか、少し強いといった感じで、互いに切磋琢磨できる良いレベルでした。ただ初日の練習ではUAEの選手たちは必要以上にチュニジアの女子選手と練習をしていました。女子選手としか練習していなかったと言っても過言ではないくらいでした。おそらくUAEには女子選手がおらず、宗教的に女子と接することが難しいということもあって、浮足立っていたのだと思います。決して女子選手との練習を否定するわけではありませんが、柔道のレベルアップを目的にチュニジアまで来ているので、「自分より強い相手と練習しよう」と選手たちに話し、男子との練習を促しました。選手たちも理解してくれ、2日目からは積極的に男子と練習していました。



男子と練習するようにはなりましたが、いかんせんUAEの選手は体力が無いので連続して乱取ができず、1本練習しては休む、を繰り返していました。無理に練習させて怪我をしても困るし、どうしようかと考えていたのですが、UAEチームと一緒に帯同してくれていたジャファーコーチ

に相談したところ、「彼らは無理やり練習させればやるよ。どこか痛いと言っても大抵は大した怪我ではないから大丈夫」と、相談した次の日から選手たちが休めないようにジャファーコーチが対策を取ってくれました。そのお蔭もあり休む本数も大きく減りました。



選手たちはヘトヘトになりながらも一生懸命練習し、良い流れで合宿は進んでいきました。しかし初日は8人ほどいたコーチが日を追うごとに1人減り、2人減り、ある日練習に行ってみると私以外誰もコーチがいないという状況がありました。先ほど登場したジャファーコーチはチュニジア出身のコーチなのですが、彼もお客さんを町案内しなければいけないという理由で練習に来られませんでした。アラビア語かフランス語しか通じないチュニジアで、60人近くいる選手に対して私1人で指導しなければいけない状況はさすがに足が震えました。不安いっぱいの中で練習をスタートしましたが、状況を察したUAEの選手たちが通訳をし、チュニジアチームのリーダー的な存在の選手もチームをまとめてくれ、練習は案外スムーズに行えました。またこういうトラブルがUAEとチュニジアの選手の距離を縮め、私とチュニジアの選手の距離も縮めてくれるのだと感じました。他国の合宿に来て、「誰もコーチがいないなんて状況が起こるのだ」と本当に驚きましたが、チュニジアの選手と距離を縮められたという点においては良い機会を頂けたのかなと思います。

そんなこんな細々としたトラブルはあったものの合宿は良い形で終了することができました。初日は女子選手としか練習しなかったところから、休まず続けて乱取ができるまでに選手たちは成長しました。痛い痛いと言いながらも自分でテーピングを巻いて、練習に戻っていく姿も印象的でした。どれもほんの少しの成長ですが、UAEの選手にとっては大きな成長のように感じました。こういった経験を繰り返し、少しずつ成長していった欲しいと思います。



ابن ثعلوب: الجودو جاهز لبطولة الأشقاء



محمد بن ثعلوب الدرعي

خورفكان (بجانب الجهاز الفني المكون من المدرب الياباني أشيدا كوكي مدرب عام منتخبات الفئات العمرية والمدرب جعفر النخلي وعقب العودة من تونس يستمر برنامج الإعداد المحلي حتى موعد معسكر تركيا خلال الفترة من 8 وحتى 14 يناير المقبل، بعد أن تحدد موعد منافسات الجودو في الدورة الخليجية خلال الفترة من 15 وحتى 19 يناير.

تعود إلى الإمارات بعد غزو السبت قادة من تونس بطلنة منتخب الجودو بعد حزام معسكر الإعداد الذي أقيم هناك استعداداً للمشاركة في دورة الألعاب الرياضية الخليجية الثالثة.

وذكر محمد بن ثعلوب الدرعي رئيس الاتحاد عقب اتصال تلقاه من محمد جاسم أمين السمر المساعد رئيس البعثة بأن منتخبنا الوطني الشاب للجودو أكمل الجاهزية

لدورة الأشقاء الخليجية من خلال المعسكر الذي استمر لمدة 10 أيام بمدينة القيرون بمشاركة منتخب تونس وذلك بمشاركة 9 لاعبين يمثلون منتخب المستقبل وهم: أحمد فيصل النقي علي حسن الدرعي، زايد فيصل النقي، ومحمد الشامسي (نادي اتحاد كلباء)، ومنصور جمعة، مانع جمعة، خالد وليد، وراشد زاهي (نادي الشارقة الرياضي) وحمد الهاشمي (نادي



من تدريبات المنتخب في معسكر تونس

(↑ 今回の合宿に関して、新聞やネットニュースにも取り上げられていたようです。)

チュニジア合宿の報告は以上になります。

さて、年が代わり2022年1月、予定されていた海外での合宿や試合はコロナ感染拡大により延期になりました。国内のスポーツ活動も中止になるかもしれないという噂を小耳に挟みましたが、今のところ変わりなく練習が続けられています。また以前はアブダビ市内での指導のみでしたが、最近は週に3日アブダビ市内で行い、週に2日はシャムハという市内から少し離れた場所で指導をしています。アブダビで指導を開始して以降、練習に行くと畳が撤去されていたり、知らぬ間に施設工事が始まり道場が使えないなんてこともありました。最近はそのようなトラブルも減り、安定して指導できるようになってきました。



生徒数は平均で10人前後とあまり多くは無いですが、駐車場で1人の生徒と練習していたころに比べれば大きな進歩です！

今後はもう少しアブダビの柔道人口を増やしていきたいですし、「アブダビで練習している子たちは強いね」と言ってもらえるように、練習の質も高めていきたいと思えます。



来月(2月)も海外での合宿や試合等の大きな活動はありませんので、引き続きアブダビでの指導を頑張りたいと思います。

最後になりますが、今年1年も UAE での活動を精一杯頑張りますので、温かく見守って頂ければ幸いです。本年もどうぞよろしくお願い致します。

芦田 弘毅